



五管区水路通報第39号

977項-1004項

令和元年10月11日

※本通報に使用している経度、緯度は世界測地系(WGS-84)に基づいています。

第977項	紀伊水道南方		射撃訓練
第978項	紀伊水道南方		射撃訓練
第979項	四国南岸	土佐湾	武器発射試験
第980項	潮岬東方至四国南岸		水路測量
第981項	本州南岸	日置港付近	潜堤築造工事
第982項	本州南岸	日高港	汚濁防止膜設置
第983項	紀伊水道	湯浅湾、湯浅広港	防波堤改良工事
第984項	和歌山下津港	海南区、第2区	水路測量
第985項	大阪湾		曳航訓練等
第986項	大阪湾	泉州港	潜水訓練
第987項	大阪湾	泉州港南東方	花火打ち上げ
第988項	阪南港	第3区	潜水訓練
第989項	阪神港	大阪区、第4区	水路測量
第990項	阪神港	神戸区、第1区	重量物荷役作業
第991項	東播磨港		海上訓練
第992項	姫路港	東区、第1区	潜水作業
第993項	瀬戸内海	赤穂港	露出沈船存在
第994項	播磨灘北部		ヨットレース
第995項	淡路島	湊港及び付近	海上行事
第996項	淡路島	湊港付近	魚礁設置作業
第997項	鳴門海峡	撫養港及び付近	養殖施設設置
第998項	紀伊水道	今切港	水路測量
第999項	徳島小松島港及び付近		ヨット練習会
第1000項	徳島小松島港	小松島区、第1区	潜水訓練等
第1001項	四国南岸	甲浦港及び北東方	海上行事
第1002項	四国南岸	高知港	防波堤改良工事
第1003項	四国南岸	高知港南西方	水路測量
第1004項	室戸岬南方至佐多岬南方		水路測量

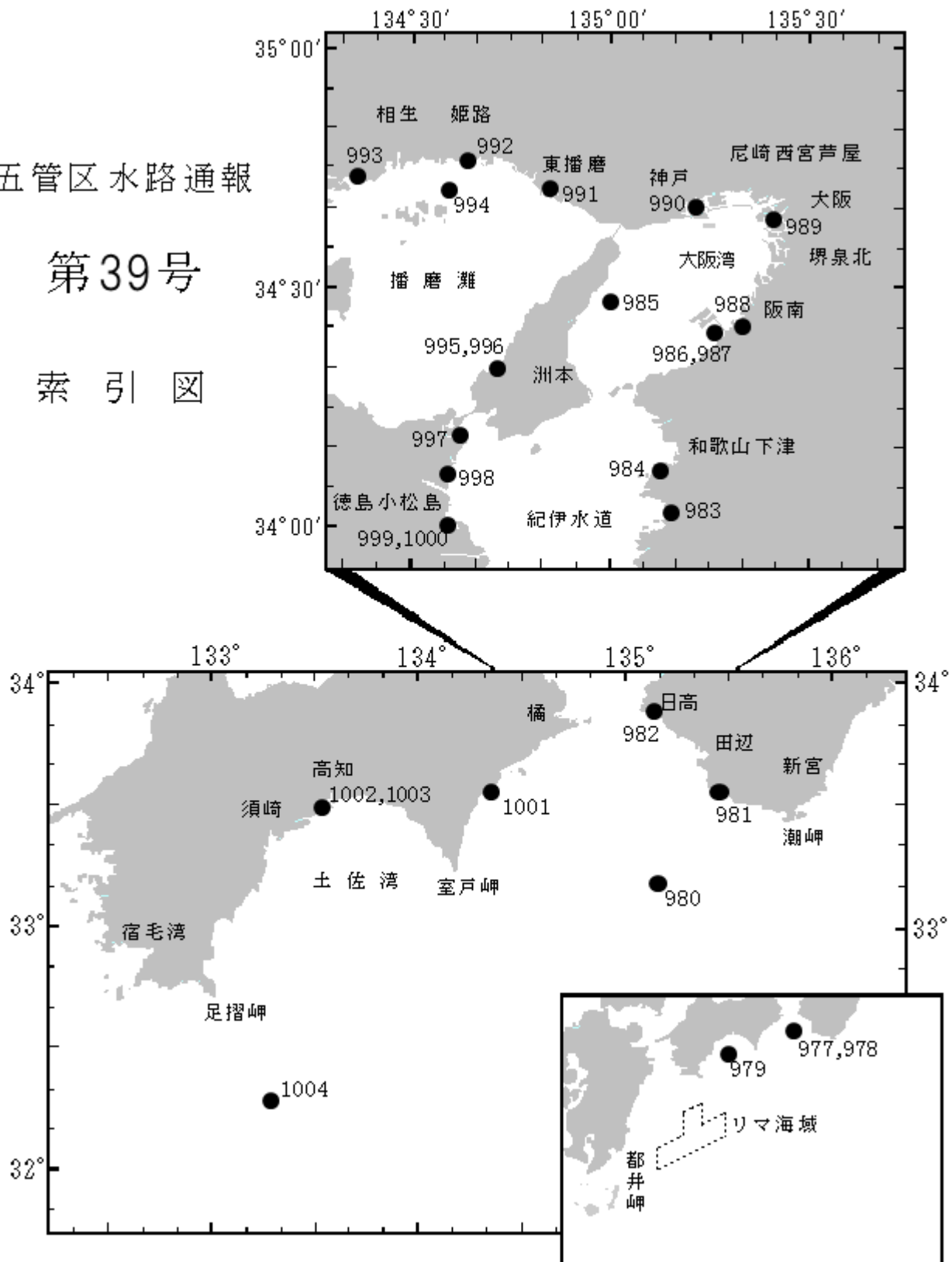
※海図の改補(小改正)のお知らせ(海上保安庁水路通報第38号(令和元年10月4日発行)掲載分)

海 域	改正内容	該当海図	項 数	五管区水路通報の項数
日高港	水深について(補正図)	W77(JP 共)	763	-----
徳島小松島港徳島区	防波堤延長、灯撤去	W1126	771	元年35号885項

五管区水路通報

第39号

索引図



※項数は、太平洋で実施される訓練から先に付与します。

※五管区水路通報に関するお問合せはこちらまで
〒650-8551 神戸市中央区波止場町1-1
第五管区海上保安本部海洋情報部監理課情報係
TEL:078-391-6651(内線2515、2516)
FAX:078-332-6307(自動受信)

※五管区水路通報提供サービス
FAX: 078-332-6307……最新号(ポーリング受信方式)
インターネット: URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN5/tuho/tuho2.htm>

★元年 9 7 7 項 紀伊水道南方 射撃訓練

日ノ御埼南方において、巡視船艇による射撃訓練が実施される。

期 間 令和元年 10 月 28 日（予備日 30 日）0930～1700
区 域 33-34.8N 135-03.0E を中心とする半径 5 海里の円内区域
備 考 巡視船は「UY」及び「NE4」旗を掲揚、紅色閃光灯を点灯
海 図 W77（JP 共）
出 所 五本部警備救難部



★元年 9 7 8 項 紀伊水道南方 射撃訓練

蒲生田岬南方において、巡視船艇による射撃訓練が実施される。

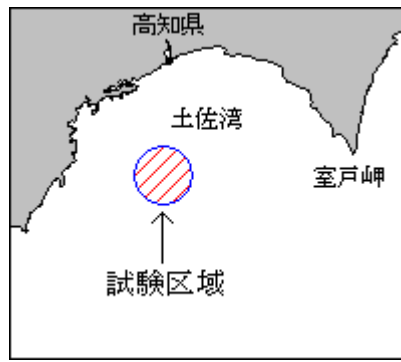
期 間 令和元年 10 月 30 日 0900～1600
区 域 33-29.6N 134-48.8E を中心とする半径 5 海里の円内区域
備 考 巡視船艇は「UY」及び「NE4」旗を掲揚、紅色閃光灯を点灯
海 図 W77（JP 共）
出 所 五本部警備救難部



★元年 9 7 9 項 四国南岸 — 土佐湾 武器発射試験

土佐湾において、巡視船による武器発射試験が実施される。

期 間 令和元年 10 月 30 日（予備日 31 日）0900～1700
区 域 33-10-48N 133-33-00E を中心とする半径 5 海里の円内区域
備 考 試験中は警戒船が配備される
海 図 W108（JP 共）
出 所 五本部船舶技術部



★元年 980 項 潮岬東方至四国南岸 水路測量

五管区水路通報元年 36 号 889 項削除

測量船「明洋」(550 トン)による水路測量が実施される。

期 間 令和元年 10 月 15 日～30 日のうち 3 日間

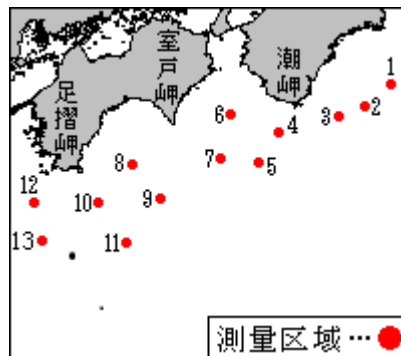
区 域 下記 13 地点付近

- (1) 33-40-12N 136-59-45E
- (2) 33-26-00N 136-40-00E
- (3) 33-20-02N 136-19-57E
- (4) 33-09-37N 135-34-18E
- (5) 32-48-07N 135-21-00E
- (6) 33-21-00N 134-56-40E
- (7) 32-52-16N 134-48-50E
- (8) 32-49-00N 133-40-00E
- (9) 32-25-41N 134-01-52E
- (10) 32-22-05N 133-13-09E
- (11) 31-55-51N 133-34-35E
- (12) 32-23-00N 132-25-02E
- (13) 31-58-26N 132-29-42E

備 考 測量船は白紅白のえん尾旗を掲揚
上記(6)～(13)地点は天候により実施される

海 図 W157

出 所 海上保安庁海洋情報部



★元年 981 項 本州南岸 ー 日置港付近 潜堤築造工事

五管区水路通報元年 33 号 813 項削除

日置港西方において、潜水士・起重機船等による潜堤築造工事が実施されている。

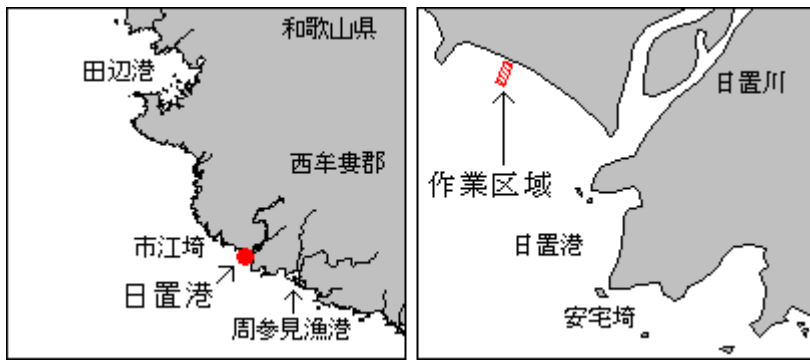
期 間 令和 2 年 3 月 14 日まで(予備日 16 日～24 日) 日出～日没

区 域 33-33.9N 135-26.1E 付近

備 考 作業船のアンカーワイヤーを示す浮標が設置される
潜水作業中は国際信号旗「A」旗を掲揚
作業中は警戒船が配備される

海 図 W77(JP共)ーW93(JP共)

出 所 五本部海洋情報部



★元年982項 本州南岸 一 日高港 汚濁防止膜設置

西川において、係留施設築造工事に伴い汚濁防止膜が設置される。

期 間 令和元年10月15日～令和2年3月19日
 区 域 33-52-44N 135-09-13E 付近
 備 考 汚濁防止膜は黄色標識灯で明示される
 海 図 W77 (分図「日高港」、JP共)
 出 所 五本部海洋情報部



★元年983項 紀伊水道 一 湯浅湾、湯浅広港 防波堤改良工事

湯浅広港において、潜水士・クレーン付台船等による防波堤改良工事が実施されている。

期 間 令和2年3月10日まで (予備日11日～20日) 日出～日没
 区 域 34-02-04N 135-09-43E 付近
 備 考 作業中は警戒船が配備される
 作業中は汚濁防止膜が設置される
 潜水作業中は国際信号旗「A」旗を掲揚
 海 図 W150C (JP共)
 出 所 和歌山海上保安部



★元年 9 8 4 項 和歌山下津港 — 海南区、第 2 区 水路測量

関西電力海南発電所北側において、水路測量が実施される。

期 間 令和元年 10 月 16 日～25 日のうち 1 日
区 域 34-09-22N 135-11-12E 付近
備 考 測量船は白紅白のえん尾旗を掲揚
海 図 W 1 1 4 5
出 所 五本部海洋情報部



★元年 9 8 5 項 大阪湾 曳航訓練等

大阪湾において、巡視船による曳航訓練及びもやい銃発射訓練が実施される。

期 間 令和元年 10 月 24 日、11 月 5 日（予備日 6 日） 0900～1700
区 域 下記 4 地点により囲まれる区域
(1) 34-33N 135-01E
(2) 34-33N 135-03E
(3) 34-25N 135-00E
(4) 34-25N 134-57E

備 考 巡視船は「UY」旗を掲揚
海 図 W 1 5 0 A (J P 共)
出 所 神戸海上保安部



★元年 9 8 6 項 大阪湾 — 泉州港 潜水訓練

泉州港において、海上保安庁による潜水訓練が実施される。

期 間 令和元年 10 月 16 日～18 日、23 日、24 日、26 日、29 日、30 日 0900～1800

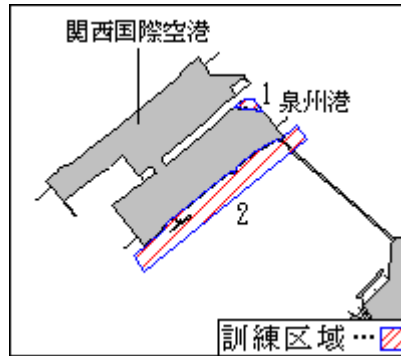
区域 1 下記 2 地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

- (1) 34-26-42.7N 135-15-28.0E
- (2) 34-26-38.8N 135-15-31.9E

区域 2 下記 6 地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

- (3) 34-26-16.2N 135-15-53.9E (岸線上)
- (4) 34-26-24.5N 135-16-06.0E
- (5) 34-26-13.3N 135-16-16.8E
- (6) 34-24-28.2N 135-13-38.5E
- (7) 34-24-40.4N 135-13-28.5E
- (8) 34-24-48.1N 135-13-40.0E (岸線上)

備考 警戒船は「UY」旗及び「A」旗を掲揚、夜間は紅色閃光灯を点灯
訓練中は警戒船が配備される
海図 W199-W1103(JP共)
出所 五本部警備救難部



★元年987項 大阪湾 — 泉州港南東方 花火打ち上げ

泉州港南東方の田尻町地先において、花火の打ち上げが実施される。

期間 令和元年10月20日 1830~1930のうち約10分間
区域 34-23-56N 135-16-57E 付近
備考 行事中は警戒船が配備される
海図 W1103(JP)
出所 関西空港海上保安航空基地

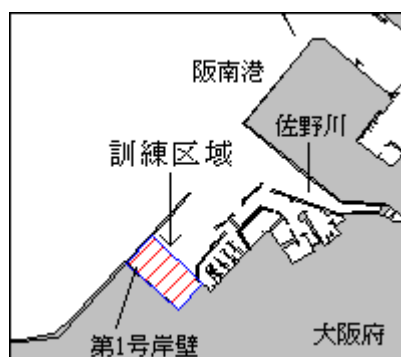


★元年988項 阪南港 — 第3区 潜水訓練

第1号岸壁前面及び付近において、海上保安庁による潜水訓練が実施される。

期間 令和元年10月16日~18日、23日、24日、26日、29日、30日 0900~1800
区域 下記2地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域
(1) 34-25-15.1N 135-18-28.5E
(2) 34-25-06.3N 135-18-39.8E

備考 警戒船は「UY」旗及び「A」旗を掲揚、夜間は紅色閃光灯を点灯
訓練中は警戒船が配備される
海図 W1141(分図「阪南港南西部接続図」、JP共)
出所 五本部警備救難部



★元年 9 8 9 項 阪神港 — 大阪区、第 4 区 水路測量

ライナーふ頭 2 岸壁前面において、水路測量が実施される。

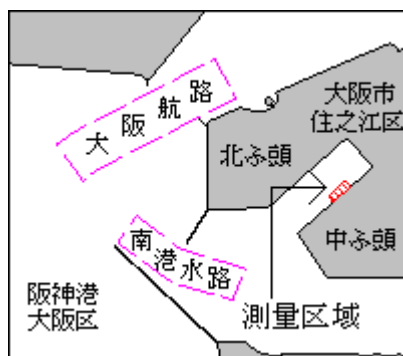
期 間 令和元年 10 月 21 日～11 月 15 日のうち 1 日

区 域 34-37-59N 135-24-42E 付近

備 考 測量船は白紅白のえん尾旗を掲揚

海 図 W 1 2 3 (J P 共)

出 所 五本部海洋情報部



★元年 9 9 0 項 阪神港 — 神戸区、第 1 区 重量物荷役作業

川崎重工業前面海域において、起重機船による重量物荷役作業が実施される。

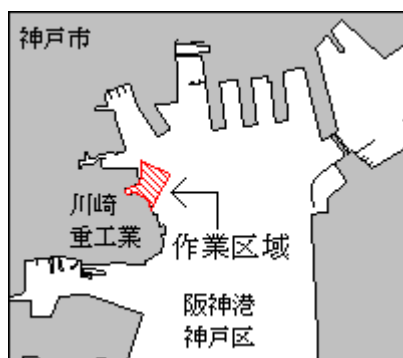
期 間 令和元年 10 月 20 日、21 日（予備日 22 日～27 日）日出～日没

区 域 34-40-33N 135-11-17E 付近

備 考 起重機船のアンカーワイヤー海面下 5m の位置を示す黄色灯付浮標が設置される
作業中は警戒船が配備される

海 図 W 1 0 1 A (J P 共) - W 1 0 1 B (J P 共)

出 所 阪神港長



★元年 9 9 1 項 東播磨港 海上訓練

新島公共ふ頭西側において、巡視艇、旅客船等による海上訓練が実施される。

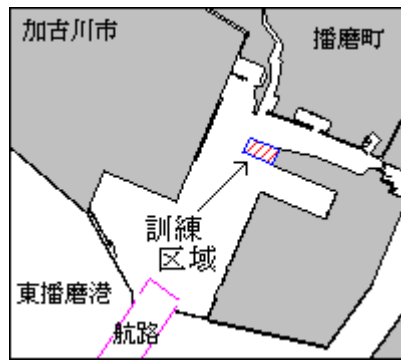
期 間 令和元年 10 月 17 日（予備日 24 日）1330～1500

区 域 34-42-43N 134-50-46E 付近

備 考 巡視艇は国際信号旗「UY」旗を掲揚、紅色閃光灯を点灯

海 図 W 1 0 7 (J P 共)

出 所 東播磨港長



★元年992項 姫路港 ー 東区、第1区 潜水作業

関西電力姫路第2発電所前面において、潜水士によるクラゲ防止ネットの撤去作業が実施される。

期間 令和元年10月21日～25日（予備日26日～31日）日出～日没

区域 34-46-33N 134-41-18E 付近

備考 潜水作業中は国際信号旗「A」旗を掲揚
作業中は警戒船が配備される

海図 W134A

出所 姫路港長



★元年993項 瀬戸内海 ー 赤穂港 露出沈船存在

赤穂港において、はしけ（長さ約40m）が船底を露出した状態で沈没している。

位置 34-43-28N 134-22-42E 付近

備考 沈船の位置を標識灯で明示

海図 W111（赤穂港）

出所 高松海上保安部



★元年994項 播磨灘北部 ヨットレース

八木港南方から鞍掛島までの間において、クルーザーヨット（約25隻）によるヨットレースが実施される。

期間 令和元年10月20日（予備日27日）0900～1530

区域 下記2地点を結ぶ線上付近（往復）

(1) 34-45.6N 134-43.4E

(2) 34-41.0N 134-38.1E

備考 上記(1)地点に橙色円筒形浮標が設置される
レース中は警戒船が配備される

海図 W1113

出所 姫路海上保安部



★元年995項 淡路島 — 湊港及び付近 海上行事

湊港及び付近において、水上オートバイの練習走行及び競技会が実施される。

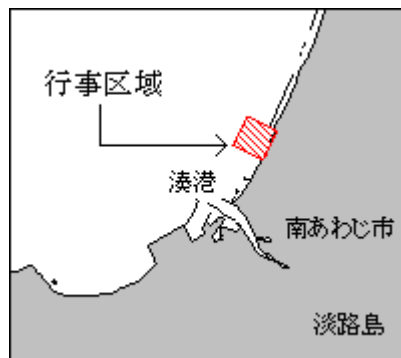
期間 令和元年10月25日 1500～1700
26日 0930～1700
27日 0800～1630

区域 34-20-21N 134-43-56E 付近

備考 10月25日1300～27日1700までの間、区域を示す黄色灯付浮標及びコースを示す浮標が多数設置される
行事中は警戒船が配備される

海図 W1442-W150B

出所 神戸海上保安部



★元年996項 淡路島 — 湊港付近 魚礁設置作業

湊港付近において、潜水士・起重機船による魚礁設置作業が実施される。

期間 令和元年10月28日～12月27日のうち3日間 日出～日没

区域 34-19-50N 134-42-56E 付近

備考 作業中は警戒船が配備される
作業船のアンカー位置を示す浮標が設置される

海図 W1442

出所 神戸海上保安部



★元年 997 項 鳴門海峡 — 撫養港及び付近 養殖施設設置

撫養港及び付近において、わかめ養殖筏及び区域を示す橙色灯付浮標が設置される。

期 間 令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 5 月 31 日

区 域 34-09.6N 134-38.3E 付近

備 考 10 月 12 日～11 月 20 日の間、潜水士・漁船による養殖施設の設置作業が実施される

海 図 W1216 (撫養港、栗津港)－W112 (JP 共)－W150C (JP 共)

出 所 徳島海上保安部



★元年 998 項 紀伊水道 — 今切港 水路測量

今切港において、水路測量が実施される。

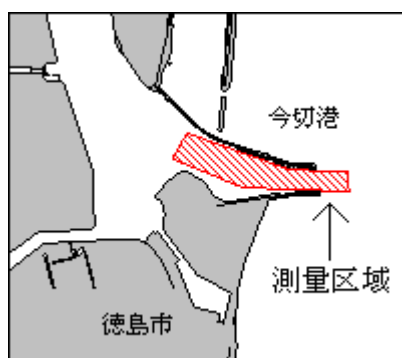
期 間 令和元年 10 月 15 日～17 日のうち 1 日

区 域 34-06-14N 134-36-23E 付近

備 考 測量船は白紅白のえん尾旗を掲揚

海 図 W1214

出 所 五本部海洋情報部、徳島海上保安部



★元年 999 項 徳島小松島港及び付近 ヨット練習会

津田外防波堤東方において、クルーザーヨット(5 艇)による練習会が実施される。

期 間 令和元年 10 月 20 日 0900～1500

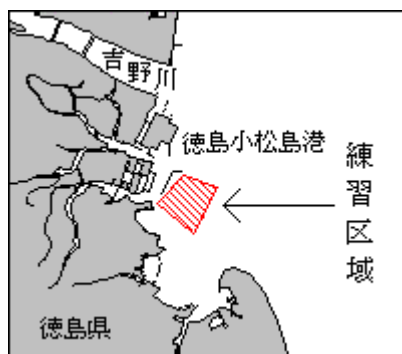
区 域 下記 4 地点により囲まれる区域

- (1) 34-02-40.7N 134-36-32.7E
- (2) 34-02-24.1N 134-37-27.7E
- (3) 34-01-27.8N 134-36-48.7E
- (4) 34-02-03.0N 134-35-52.6E

備考 上記区域内にコースを示す橙色三角形浮標が2基設置される
練習中は警戒船が配備される

海図 W1126

出所 徳島小松島港長



★元年1000項 徳島小松島港 — 小松島区、第1区 潜水訓練等

北岸壁前面において、小松島市消防署による潜水訓練及び救助艇取扱訓練が実施される。

期間 令和元年10月21日、25日 0845~1230

区域 34-00-42N 134-35-26E 付近

備考 区域内に浮標が設置される

海図 W1126

出所 徳島小松島港長



★元年1001項 四国南岸 — 甲浦港及び北東方 海上行事

甲浦港及び北東方において、遠泳大会及びシーカヤックレースが実施される。

期間 令和元年10月27日 0830~1400

区域1 33-33.3N 134-19.2E 付近(付図参照)

区域2 33-32.6N 134-18.8E 付近(付図参照)

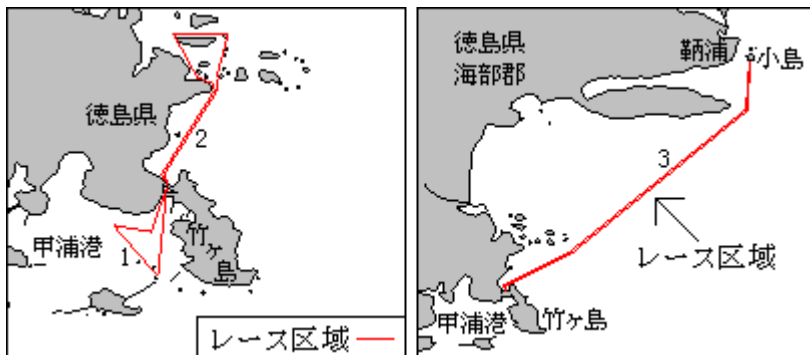
区域3 下記4地点を結ぶ線上付近(付図参照)

- (3) 33-32-55N 134-18-56E
- (4) 33-33-16N 134-19-46E
- (5) 33-34-47N 134-22-00E
- (6) 33-35-16N 134-22-02E

備考 10月26日1300~27日1600の間、区域を示す浮標が多数設置される
レース中は警戒船が配備される

海図 W59-W59(分図「甲浦港」)

出所 徳島海上保安部



★元年1002項 四国南岸 — 高知港 防波堤改良工事

第7ふ頭南方において、潜水士・起重機船等による防波堤改良工事が実施される。

期 間 令和元年10月15日～令和2年3月16日 日出～日没

区 域 下記5地点により囲まれる区域

(1) 33-30-25N 133-35-26E

(2) 33-30-17N 133-35-39E

(3) 33-30-08N 133-35-39E

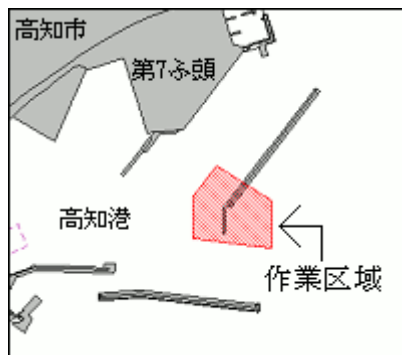
(4) 33-30-10N 133-35-20E

(5) 33-30-18N 133-35-20E

備 考 改良工事に伴い撤去したブロックは上記区域内に仮置きされる
作業船のアンカー位置を示す浮標が設置される
潜水作業中は国際信号旗「A」旗を掲揚
作業中は警戒船が配備される

海 図 W110

出 所 高知港長



★元年1003項 四国南岸 — 高知港南西方 水路測量

春野漁港において、水路測量が実施される。

期 間 令和元年10月15日～11月15日のうち1日

区 域 33-28.2N 133-30.5E 付近

備 考 測量船は白紅白のえん尾旗を掲揚

海 図 W108(JP共)

出 所 五本部海洋情報部



★元年1004項 室戸岬南方至佐多岬南方 水路測量

室戸岬南方至佐多岬南方において、研究船「かいらい」(4,517トン)による水路測量が実施される。

期 間 令和元年10月24日～11月5日

区 域 下記4地点により囲まれる海域

(1) 33-00N 132-00E

(2) 32-15N 134-30E

(3) 29-30N 132-30E

(4) 29-30N 130-30E

備 考 研究船は白紅白のえん尾旗を掲揚

海 図 W1072

出 所 海上保安庁海洋情報部、海洋研究開発機構

